

会 議 録

会議の名称	令和元年度第3回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和元年10月7日(月) 午後3時～午後4時00分
開催場所	前原暫定集会施設 前原暫定会議室
出席委員	不破委員、内田委員、宇野委員、林委員、酒井委員、渡邊委員、櫻井委員、鈴木委員、松田委員、山極委員、五十嵐委員、印牧委員
欠席委員	澁谷委員、亀山委員、坂口委員、大元委員
会議次第	(1)一言コメント (2)講演会について (3)その他 (4)次回の開催について
主な意見等	(事務局) 東小学校栄養教諭の古荘委員の後任に小金井第三小学校栄養士の櫻井委員を任命したことを報告する。 (会長) それでは、自己紹介を兼ねた挨拶をお願いします。 (櫻井委員) 東小学校栄養教諭の古荘委員の代わりとして、今回のみんなの給食委員会から参加させていただく櫻井です。三年前に栄養士の代表として1年間参加させていただいた。途中からの参加となるが、よろしくをお願いします。 (1)一言コメント (委員) ・9月の小金井第二中学校の学校公開時に職業人として呼ばれ、前職が旅行代理店勤務だったので当時の話をした。その時、他の職業人の方と一緒に給食をいただいたが、皆さんお

いしいと感心されていたので、小金井の給食は一般的に見て、おいしいものが提供されていることが改めて分かった。

・給食は、消費税増税に関係ないということで、値上げは無いですね。巷ではえらい騒ぎで、私はスーパーに勤めているが、大量に食料品を買っていく方が多く、勘違いされているのかと思った。議会の答弁の中で地場産野菜の使用が値上げの理由の一つにあげられているようだが、使用率や苦労などあれば教えて欲しい。

(事務局)

地場産野菜の使用率は、平成29年度は9.89%、平成30年度は13.39%で、平成30年度は、JA、生産農家さんを交え6月と11月に目あわせ会を行い、学校給食で使用する野菜の大きさなどについて、情報共有を行った。天候不良等で注文がキャンセルになるといったこともあるようだ。

(委員)

・二中では、トイレ改修や給食のトレーが変わって、配膳しやすくなったという便りがあった。定期的に入れ替えしているようでありがたいと思う。一小では、給食室の工事が終わって、食器が変わったようだ。最初は割れるから気を付けていたようだが、大分慣れてきたようだ。学童では、夏休みにお弁当が注文できるようになったようだが、利用率は高くなかったようだ。

・10月に入り、今後ノロウイルスも流行ってくる季節になるので、体調管理に気を付けて対応していこうと思う。他の自治体では、中学校の職業訓練ということで、給食室でも何名か受け入れる予定になっているが、将来、この仕事をやりたいと思ってもらえるように案内できればいいと思っている。

・2学期に入り時期的にはまだ早いですが、ニュース等でもあるように、インフルエンザが流行り始めているなど感じている。あと、おたふく風邪も流行っていて、従業員の家族や他の自治体では子供のお休みが出てきている状況もあって、時期的には早いなどと思うが、手洗い等、体調管理に気を付けていきたいと思っている。

・インフルエンザが時期的に早いですが、例年より早めに流行してきたようで、この先冬場に向けて、体調管理に気を付けて行こうと思う。

・2学期が始まって約1か月たつが、調理場はまだ暑いので、食中毒等に注視している。2学期が一番長いので、何をやっていいかと考えている。

・今年も科学の祭典に参加した。農家見学の時に撮った資料を使い、地場野菜のクイズを行った。給食への理解を深めていただくことができたと思う。学校運動会では、受付等、手

伝いできたのが良かったと思う。

・三小近くの土屋農園さんのテレビ取材があって、給食に使っているルバーブを取り上げていた。注目してもらってよかったと思っている。給食の食材は、増税の影響はないと思っていたが、増税前の駆け込みの関係で運輸・運送に影響が出たため、米などの郵送や宅急便で送られてくるものが、遅れるなどの影響があった。

・9月の台風に対応で、朝7時の段階で暴風雨警報が出ていると給食が中止になるのだが、ぎりぎりまでわからず、とても不安だったが、支障なく給食の提供ができた。前日からの出勤、通勤の対応など、委託業者の協力に感謝している。

(会長)

私も学校で待機していたが、暴風雨警報が解除されたのは、6時過ぎだった。本当に台風の際は苦勞するので、知っていただくとありがたい。

(委員)

中止になった場合の食材はどうなるのか。

(委員)

キャンセルできるものはキャンセルするが、キャンセルできないものもあるので、返金できない場合もある。また、献立変更などで対応できる場合もある。なるべく無駄のないよう対応している。

(2)講演会について

(渡邊委員)

講演会の講師と内容については、前回、古莊委員からお伝えしたが、酒井先生をお招きして、苦手な野菜を好きになってもらうための出前授業を基に、食育の視点からの講演で話を進めている。日時は、11月25日(月)で場所は、学校規模の大きい三小で実施したいと考えている。実施会場が三小の視聴覚室で、募集人数に限りが出てくるので、対象者は小金井市の東側の小学校の保護者に絞りたいと考えている。食育リーダー、栄養士会、みんなの給食委員会委員の出席を考えると45名程度の募集となるが、小学校全校に募集をかけると1校当たりの人数が5名とかなり少なることから、東側3校(三小、東小、緑小)に絞りたいと考えている。

(委員)

各校15名程度の募集ということだが、応募が少なかった場合はどうするのか。

(櫻井委員)

今回、初めて実施するので、参加人数が読めないところもあるが、応募いただいた方は、出来れば全員受け入れたいと考えている。仮に、募集の結果、少なかったとしても応募者全員受け入れる方が丁寧だと考えている。

(委員)

応募者が少なかった場合、他の学校の保護者の受け入れは可能か。

(渡邊委員)

講演会の周知、チラシの配布・回収に時間がかかる。再募集は難しいと思う。

(委員)

講演会の後、テーブル置いたりしてワールドカフェできるのか。

(櫻井委員)

多分、テーブルは置かずに、参加者が円になって行う形になると思う。

(委員)

会場は何人位入るのか。

(櫻井)

100人弱位

(委員)

・この内容だとJAとか江戸東京野菜とかでもできる内容で、給食委員会で企画してやるのなら、栄養士さんから給食で工夫していることなど、給食に絡めた話を入れてもらおうと、給食を知れる切り口になると思っていて、野菜嫌いについてなので、低学年の保護者の関心は高いと思う。また、応募用紙が無くても空きがあったら入れるようにしたらどうかと思う。開催時間が、子供が帰ってくる時間と重なるので、低学年の保護者の参加は微妙だと思うので、放課後教室みたいなものがある方が参加しやすいのではないかと思う。

・3校15名よりも、5校10名位のほうが良いのではないか。

・この開催の仕方が理想とは思わないが、最初だからとりあえずやってみるということは理解する。

・14時30分から16時30分までの時間配分はどう考えているか。また、何グループを考えているか。

(渡邊委員)

60分が講演会、30分ディスカッション、30分質疑応答で調整する予定。参加人数にもよるが、10人8グループ位を考えている。

(委員)

1グループ5、6人の方が話しやすいのではないか。

(渡邊委員)

参加人数を見て、5、6人で割り振るようにする。

(委員)

参加人数が少なかった場合、P連にも連絡いただけると、興味のある方に一斉メール等で本部を通して連絡は可能と思う。申し込みや集約を事務局でやるとか、取り決めがあつて

もいいと思う。一応、P連本部に講演会の話はしてあるので、空きがあったらご案内してもいいのではないかな。

(会長)

可能かどうか、ちょっと検討していただいて。P連については、学校が直接関与できない部分で、集約できるのであれば渡邊委員に連絡するような対応でどうか。集約できるのであれば。

(櫻井委員)

11月8日の締め切りだが、8日までに3校分の応募者が揃うわけではないと思うので、次週中に応募者数を把握して、事務局に伝える形になると思うがどうか。

(会長)

8日締め切りの場合、集約するのに1週間位余裕が必要だと思うが、あとは当日対応が可能かどうかというところ。

(委員)

案ですが、席に余裕があるので「よろしかったら当日お越しください。ただ定員に達したら、お断りすることもあります。」という但し書き付きで、P連経由で流してもらったり、学務課のツイッターのアカウントを取っていただいて、教育委員会でもいいけど、それで流すとか、小金井市公式でも教育委員会でもいいが、公式なアカウント取ってもらって流すことってできるか。取りまとめ25日の講演会の前までにやるのは大変だと思うし、断るのもなかなか大変だろうと思う。こういう講演会があるということを市民の方に知っていただきたいという思いがあるので、広報だけでもしてもらえたらありがたいという気持ちがある。次年度以降、講演会をやるときの検討事項とするにしても、今年度から講演会を始めましたってことを広報してもらえないか。ちょっと汗をかいていただけないかということ。

(櫻井委員)

1回目の募集で、どれくらいの応募があるか読めないが、人数に満たなかったら、学校のメールがあるので、それぞれの学校で15人いってない場合に、副校長先生にお願いして、2回目の締め切り設けて再募集するというので、それ以上は難しいと思うので、この2段階で様子を見るっていうことでどうか。

(委員)

・酒井先生ご自身のネームバリューがあるので、知っている方は話を聞いてみたいと思うので、酒井先生の名前の力で、とりあえず3校でやってみるのもいいと思う。ちょっとわかりかねる部分もあるので、次年度以降は、活用できればいいと思う。

・次年度以降は、予算をしっかりとって、萌え木ホールとかで開催したい。

・酒井先生の講演、萌え木ホールのほうが全然いい気がする。
(会長)
今年度は、一次募集、その様子を見ながら、メールで追加募集する形でやってみる、とりあえず今年度はそういう流れでやっていきたいと思う。

(委員)
当日の準備とか、係とかあるのかなと思うが。

(渡邊委員)
受付は皆さんにお願いできればと考えている。会場設営も協力いただけると助かる。

(委員)
集合時間は何時位になるか。

(渡邊委員)
午後2時位に場所は三階の視聴覚教室。

(櫻井委員)
学校の履物が多くないので、スリッパとか持ってきていただくと助かる。

(委員)
ディスカッションに筆記用具は必要か。

(櫻井委員)
講演内容の具体的な打ち合わせはこれからだが、30分という限られた時間なので、意見交換というか、たくさん話した方がいいと思う。

(委員)
・話だけじゃなく、意見をまとめて各グループの代表から全体に報告してもいいと思う。
・会場ですが、東小、緑小の保護者は三小のことはよくわからないと思うので、案内に3階視聴覚室と入れられないか。
・住所くらい書いてあった方がいい。
・どこの門から入っていいか迷うと思う。

(櫻井委員)
裏面に地図とか会場案内を載せるようにする。

(委員)
あと、アンケートも取った方がいい。

(渡邊委員)
たたき台は作ってある。自由記載欄を多くしているが、意見があれば伺いたい。酒井先生との打ち合わせに持っているかと思っている。

(委員)
給食委員会の講演会でもあるので、給食とどういう形で関連付けていくかを考えて欲しい。アンケートの中に給食という言葉が全く入っていないので、内容の検討をお願いできないか。

(渡邊委員)

給食についての質問を入れるようにする。あと、アンケート結果は、次回の給食委員会で配布したいと考えている。

(委員)

この講演会の結果について、各学校の給食だよりとかでご案内はできるか。

(渡邊委員)

栄養士会に声をかけてみる。

(3)その他

(事務局)

小金井みんなの給食委員会関連の予算について、平成27年度の設置当初から、ボランティア保険料とホームページの管理委託料を計上してきたが、監査の方からこれまで使用していないとの指摘があったので、来年度予算から削除させていただく。今後、再度、予算が必要になった段階で予算計上させていただく。

(委員)

予算が削除になるのは分かった。致し方ないと思うが、今年度、栄養士さんの努力もあり、講演会が市民向けに開催できるようになった。来年度以降も続けていきたい、拡大していきたいという思いが、こちらにはある。今後、続けていくうえで、講師料、会場の予算も必要になってくると思うし、予算があれば選択肢が広がると思うが、どのように考えているのか、予算要求の時期に入っていると思うが、何らかの方針を持って予算要求しているのか、来年度の予算が無いと、学校側の協力が無いと開催できないということをお聞きされることになると思うが、どんな方針を持っているのか。

(事務局)

講師の謝礼については予算計上している。来年度も予算要求する予定。

(委員)

講師については分かった。会場費はどうか。

(事務局)

現段階で、来年度の講演会の内容が決まっていないので、会場費は予算要求していない。

(委員)

・そうすると、補正を組んで対応することになると思うが、タイミングとして6月か。

・6月には講演会の話あったと思うが。

(事務局)

来年の講演会の内容が具体的に決まっていれば、それに基づいて予算要求することは可能だが、現時点で決まっていないので、予算要求していない。

(委員)

・今年、そういう講演会の組み立てをしていないので予算を組んでいないということ。

・4月に講演会するって決まっていたと思うが。

・補正予算を組んで会場費を取るように話を進めていない。

(事務局)

10月の予算要求の時期の前に具体的な内容が決まっていれば予算要求はできる。

講演会について今年度は、栄養士会、食育リーダー会とコラボした形で、とりあえずやってみようということになっていたというのが、事務局として理解していることで、今年度の講演会を基に、次年度以降の講演会の運営を検討していくことになっていたと思っている。

(委員)

スピード間を持って、やった方がいいと思うが、何かいい手段はないか。

(事務局)

市の予算は、前年の10月に予算を組んで、3月の予算特別委員会で認めていただいて、次年度執行できるというもの。

(委員)

・市民公募委員だけの思いだけでは、物事は動かないので、次にしましょうってこと。

(事務局)

今年度、講演会を開催し、検証して次年度は、また別な形で開催し、その次の年に必要があれば予算要求をしていく形になるのではと思う。

(委員)

中学校給食の喫食時間が短いということを話題にしたい。小金井でも喫食時間が短くなって、15分というのが主流になっていると思うが、ある中学校の保護者から、喫食時間がたびたび10分になっているので思うように食べられない、十分食べられていないので、部活が終わったころには、すごく腹が減っているということを知った。給食を普通に盛っていたら食べきれないので、少ししか盛らない子もいるとのことで、学校現場で時間的なことで制限がかかってしまうと、文部科学省でも食べるだけでなく、食べる時の交流とか目的もあると思うが、十分に行われていない状況と聞いて大変残念に思っている。中学校の生徒会でも議題として取り上げてもらえないようで、保護者からなんとかならないかという相談があったが、実際はどうか。どのくらいの学校で起きているのかわからないが、相当きついと思っている。皆さんはどう感じているか、また、そのようなことを見聞きしていれば教えて欲しい。

(渡邊委員)

小学校から中学校になると給食時間が短くなる。最初は食べる時間が短いと思うみたいだが、慣れてくると特に問題ないように見える。

(委員)

喫食時間は15分か。

(渡邊委員)

20分位。給食時間が全体で30分、配膳に10分、食べる時間が20分。

先生の指導も手厚いので、準備にかかる時間が短く、20分くらいは取れていると思う。

(委員)

先生方は、10分しかない学校があるということはどう思うか。

(櫻井委員)

ずっと10分というのは、きついと思うが継続して10分という話は聞いていない。

(委員)

・小学校では、普通におかわりしていたが、中学校では男子でも急いで食べて終わるか終わらないといった状況で、学校から喫食時間を確保するため、配膳の工夫が書かれている給食だよりも配られている。

・落ち着いて食べられないのに食育といっても無意味だと思うので、大事にしてあげたいと思う。

(会長)

そういう話題があがったということは、校長会でも伝えていきたいと思う。

(委員)

たびたび話しているが、学校での給食に対してのアンケートを全校アンケートを学校の評価の関係もあるが、給食に対しての記述が無いことが気になっている。給食に対する設問を学校評価アンケートに入れて欲しいと思う。独自に給食のアンケートを取ってもよいが、学校評価アンケートの項目の一つに、満足しているとかおいしいとか時間が足りているとか自由記述欄があったらいいと思っている。子供によって個人差があり、客観的な評価は難しいと思う。アンケートは取っているのか。

(会長)

細かいアンケートは取れない。学校評価の中では、せいぜい1項目になる。

(委員)

私が、一小の学校運営連絡会で学校評価アンケートを書いたときに、給食の記述が無かったので、給食は学校全体の運営にかかわることなので、評価の項目の一つに加えられるように校長会等で検討して欲しい。

	<p>(会長) 学校評価という方法もあるが、普段の給食についてアンケートを取るという方法もある。要望については伝えていきたいと思う。</p> <p>(4)次回の開催について 1月27日(月)15時からの開催とする。場所等については、後日連絡する。</p>
<p>決定事項</p>	<p>講演会の開催 日時：令和元年11月25日(月)14時30分から 場所：小金井第三小学校 視聴覚室</p>
<p>次回の開催</p>	<p>(1)次回の開催日程等について 日時 令和2年1月27日(月)15時～16時30分 場所 市役所西庁舎 第五会議室</p>